

指定管理者に関するモニタリングシート

黄色のセルを施設担当課が記入

1 施設の概要

(モニタリング実施年度: 平成 30 年度)

施設の名称	東大阪市立埋蔵文化財センター	指定期間	30年度～	32年度
		指定の方法	複数施設を一括指定管理	
施設所管課	文化財課	連絡先	072-983-2340	
設置目的	埋蔵文化財の調査、研究及び保存を行うとともに、その活用を図り、もって市民文化の向上に資するため、埋蔵文化財センターを設置するもの。			
施設内容・業務内容等	埋蔵文化財センターは、敷地面積は2,837㎡で、施設として、一階に展示室、体験学習室、視聴覚室、特別収蔵室、堅穴住居等がある。指定管理者には、施設の維持管理業務と展示業務を委託している。			
指定管理者	公益財団法人 東大阪市文化振興協会	連絡先	06-6736-3660	
人員体制	正規職員	2	人	パート・アルバイト
				0
				その他
				0
				人

2 管理運営状況等

年度	実績			今年度(予算)	次年度(見込)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
管理形態	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理
供用(開館)日数	303	301	306	306	306
指定管理委託料(千円)	19,029	19,064	18,926	16,283	16,320
利用状況指標	1 入館者数(人)	12,558	12,632	12,544	補足説明
	2 体験学習参加人数	8,481	8,731	9,278	補足説明
	3				補足説明

3 モニタリングの総括

「個別評価」(自動表示) : S=チェック項目が全て○、A=×がなく「得点」が中間点以上、
 B=×がなく中間点未満あるいは×が1個で「得点」が中間点以上、C=×が2個以上。
 「最終評価」(任意決定) : 個別の評価結果を踏まえて、評価者の裁量で決定する。

モニタリングの観点	施設担当課のモニタリング	
	個別評価 S A B C	評価できる点や要改善事項
A 行政視点 施設の設置目的が達成でき、事業の継続性が期待されるとともに、市民の安全の確保が図られているか？	A	埋蔵文化財センターの設置目的を理解しており、指定管理者としての施設管理業務は適切に実施されている。展示事業については、さらなる改善を求める。
B 管理・運営能力 人員・予算等の資源を管理し、快適に施設や設備等を利用できる環境を整備しているか？	A	施設の清掃や補修を行い、快適な施設環境を維持している。
C サービス 平等な利用の確保及びサービス向上が図られているか？	A	サービスの中立、公平性については問題ないとする。研修について、本部で実施されている人権研修・個人情報研修のほか、施設においてAED研修・消防研修は行われているが、窓口職員の接遇については今後とも定期的な研修を行い、向上を図る必要がある。
D 市民視点 市民の声が反映される管理・運営が行われているか？	S	アンケート結果をもとに施設の管理が実施されている。
E 効果・効率性 施設の効果を最大限発揮しようとするとともに、管理経費の縮減が図られているか？	A	鴻池新田会所・郷土博物館と連携した企画を実施しているが、展示も含めさらなる事業の展開を求める。
F 法令等遵守 法令や各種規則等を理解し、遵守することで、社会的責任を果たしているか？	S	関連法令、条例、規則等を理解し、業務を運営している。
課題への対応 今後の取組	最終評価 (任意設定) A	展示事業については埋蔵文化財という限られた範囲の展示となるが、新たな成果の発表や市のイベントと連動した展示を展開する等、時節にあった展示企画を検討してほしい。避難訓練の定期的な実施及び職員接遇の改善研修については引き続き求める。